

森林環境譲与税を活用した取組

地球を潤す森林環境保全へのプロセス

Vol. 3

都市の暮らしと結びついた 森林の整備と資源の有効活用

はじめに

神戸市は、兵庫県の南東部に位置し、六甲山系が東西に連なっています。森林面積は21,151ha（総面積の38%）で、このうち1,616haは人工林となっています。

六甲山系は江戸時代以前の樹木の伐採によりはげ山となっていました。明治年代から緑化が始められ、その後、神戸市では緑化と管理を進めてきました。2012年には「六甲山森林整備戦略」を策定し、都市の暮らしと密接に結びつけた六甲山の森林の手入れを進めていく方針を定めました。2019年には森林環境譲与税を活用し、全市での森林整備や木材活用、人材育成、普及啓発などを行う基本計画をとりまとめました。

神戸市の森林は、薪炭などを得るために利用されてきたものが大半で、その多くは放置され、樹木の大径木化や常緑樹林への植生遷移、生物多様性の低下、竹の繁茂などの問題が生じています。また、スギ・ヒノキ等の人工林が占める割合はわずかに1割弱であり、林業は盛んではなく、森林の

管理に必要な林道などのインフラや伐採などの担い手も不足しています。このような背景から、人工林の多くも管理が不十分となっており、災害への耐性が小さく、倒木や斜面崩壊、土砂の流出が発生しやすくなっています。

近年、頻発する豪雨等による土砂災害を防止できる健全な森林を維持するには、神戸市では、公的な関与が必要であると考えています。そこで、森林環境譲与税（2021年度譲与額：132,610千円）を活用して、以下の事業を行っています。

1 森林整備

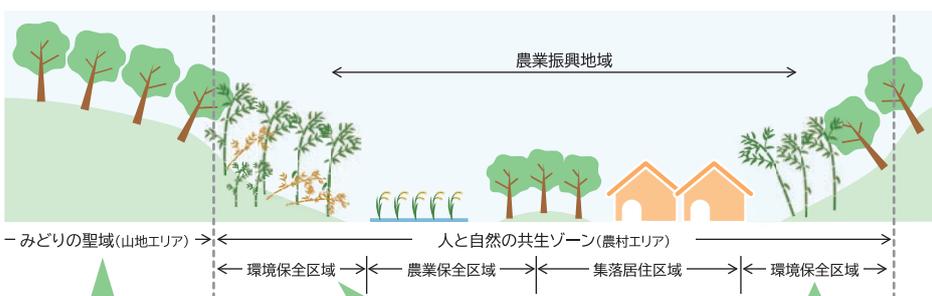
① **こうべ都市山再生事業**（2021年度決算予定額：27百万円、次年度繰越予定額：37百万円）

六甲山系や帝釈丹生山系などの山地エリアを対象として、市が実施主体となり、私有の人工林や農地に面した森林の整備、林道の修繕などを実施するものです。2019年度から2021年度の3年間で人工林間伐約7ha、広葉樹林整備約9ha、林道修繕約1,000mを行いました。

② **里山整備支援事業**（2021年度決算予定額：6百万円）

農村エリアの森林を対象として、里山林や竹林の整備を行う地域団体等の活動費や資機材の購入、講習会の開催などにかかる経費の補助を行う制度で、対象事業費の95%以内、3年間で上限300万円を補助するものです。2019年度から2021年度の3年間で19地区における団体の活動への補助を行いました。申請団体は補助金を使い、竹チップ等の機材の購入や、大木伐採の外注などを行っています。

こうべ都市山再生事業と里山整備支援事業の対象範囲



■ こうべ都市山再生事業

- 防災や生活環境保全の観点から重要な場所の整備、森林アクセス路の整備など
- 六甲山上では観光面にも寄与する整備

■ 里山整備支援事業

- 地域住民等による里山林・竹林の整備等の活動支援
- 農村集落周辺で、面積2ha未満を対象
- 委託費用を含む95%助成(上限3,000千円)



▲ 内装材に木材を使用した公共建築物（六甲最高峰トイレ）



▲ こうべ都市山再生事業で実施した人工林整備



2 木材活用（2021年度決算予定額：2百万円）

主に公共建築物等において木材利用を行っており、可能な限り神戸市産木材や兵庫県産材の利用に努め、入手困難な場合は国産木材を利用する方針です。また、2019年以降、新庁舎や図書館、体育館、保育所、福祉センター、山頂トイレなどの木質化を行っており、床や腰壁、屋根、ルーバーなどに木材を使用しています。令和2年度に整備を行った六甲最高峰トイレでは県産材や市産材を活用しており、ベンチも設置しているため特にハイカーの方々には好評いただいています。



3 人材育成と普及啓発（2021年度決算予定額：7百万円）

市では、今後の森林整備や木材活用を担う専門人材を育成していく方針で、市内の造園事業者を対象とした広葉樹林の伐採技術を学ぶ研修などを行っています。今後も兵庫県と連携しながら取り組んでいきます。

また、以前から子供や一般市民を対象とする下草刈りなどの森林整備体験などを行ってきました。引き続き、森林整備や木材活用をPRする取組を一層進めていく方針です。

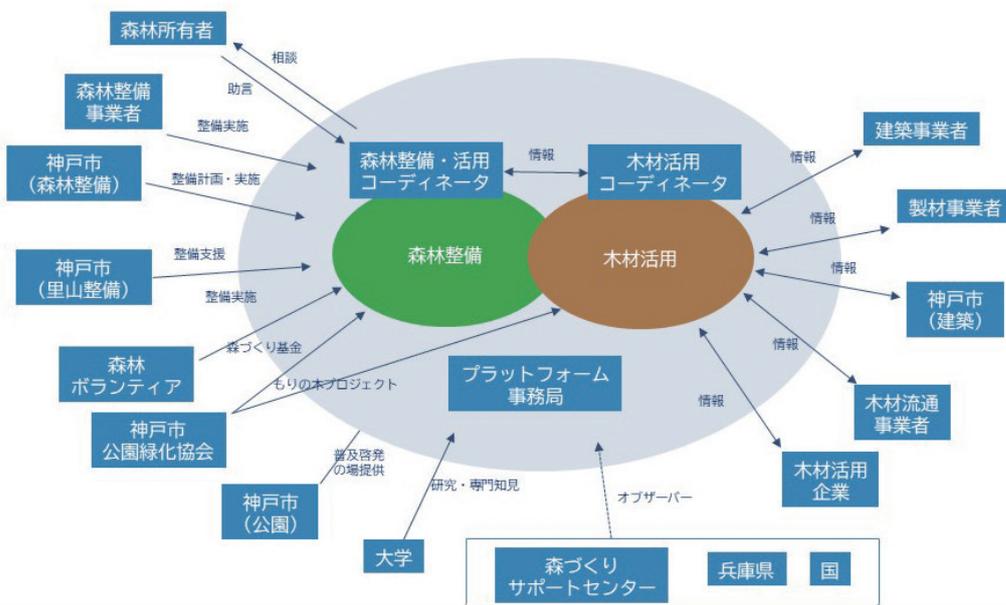


4 連携の場（仮称）こうべ森と木のプラットフォーム「オーム」の形成（2021年度決算予定額：8百万円）

市の森林整備を円滑に進め、森林資源を有効活用するためには、川上から川下に関わる庁内外の多様な主体が連携し、それぞれの取組を連動させていく必要があります。このため、行政機関や森



（仮称）こうべ森と木のプラットフォーム イメージ



林所有者、森林整備事業者、木材流通事業者、製材事業者等の連携の場として、「（仮称）こうべ森と木のプラットフォーム」の設立に向けた準備を進めています。プラットフォームでは、行政と民間それぞれの良さを活かして連携しながら、森林整備や森林資源の活用を推進していきます。この取組は始まったばかりですが、都市と森林が近接している神戸市の特性を活かしていくため、森林環境譲与税を有効に活用していこうと考えています。